

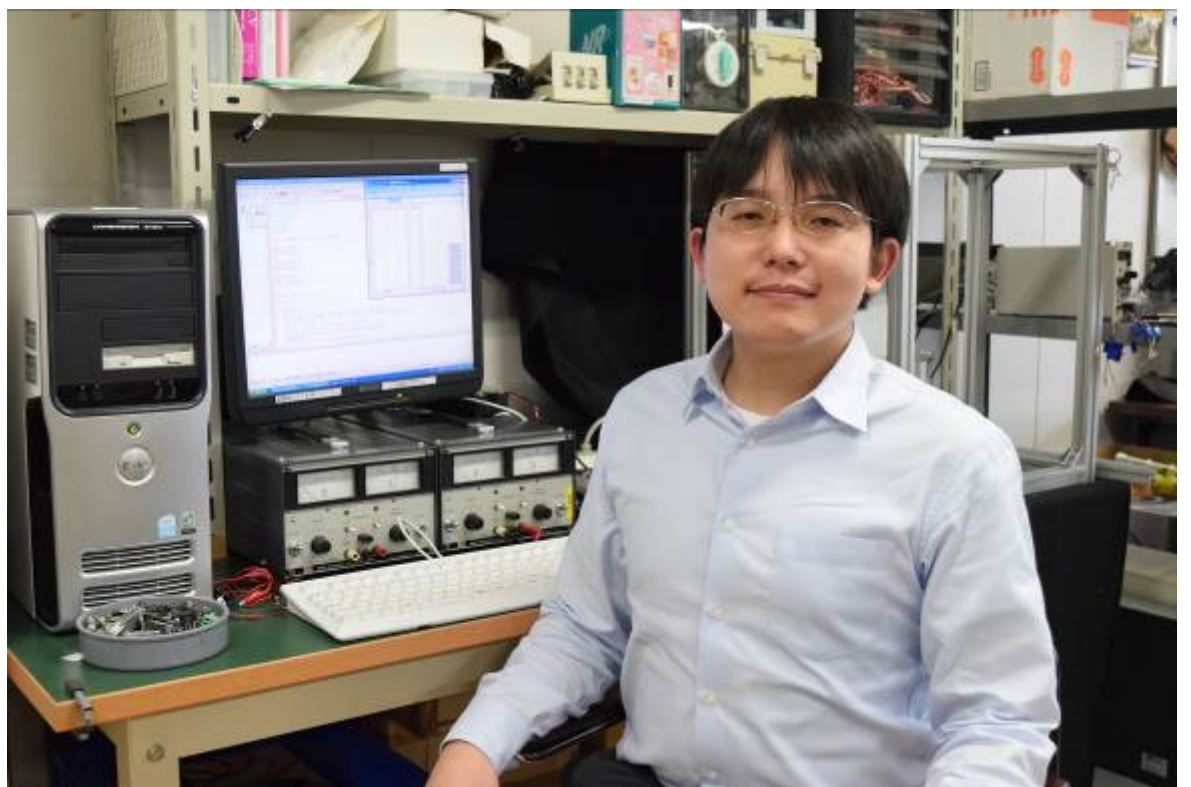


## 木野研究室の越智 裕章さんが 山陽小野田市立山口東京理科大学 の助教に。

物質生産システム工学専攻  
木野研究室の越智 裕章さんが  
4月から山口東京理科大学に助教  
として着任しました。

山口東京理科大学はこの4月  
から、公立大学法人山陽小野田  
市立山口東京理科大学に移行  
し、行政の強みと東京理科大学  
の教育と研究の強みを結合した  
「公立理工系大学」として、これ  
から地方創生に貢献していくこ  
とが期待されています。

公立大学として新しくスター  
トする山口東京理科大学に、新  
しく助教として着任する越智さ  
んにその意気込みをお聞きしま  
した。



「まだ、正直、実感が湧かないので、なんとも答えようがないですね。ただ、教えることについては今のところ不安は感じていません。これまでも木野研究室でTA（ティーチングアシスタント）として、学生の授業の補助をしてきましたが、同じように、できるだけ学生と一緒に楽しく学ぶことができたらいいな。と思っています。もちろん、立場は今までとは違うし、実際は色々あるのでしょうけど。」と屈託のない笑顔で答えてくれました。

越智さんは、3月に工学博士になりました。博士論文のテーマは「筋骨格ロボットの構造特性の解析」機械の動きを人間の動きにより近づけるロボットの研究です。筋構造を使うことで人間の柔らかい動きが機械に応用できるのか？逆に生物の動きはどういう手順なのか？等比較しながら、基礎的な研究を進めているそうです。

新しい職場では、教師と研究者の両面での活躍を期待されている越智 裕章さん。  
「木野先生と木野研のメンバーには感謝の言葉しかありません。福岡工業大学での経験を生かして、新しいステージで、精一杯頑張ります。」と最後に力強く語ってくれました。ちなみに越智さんのお父さんも福岡工業大学出身だそうです。

この件のお問い合わせは広報課

掲示期間 H-28-001  
4月4日～18日